

2024年12月期 決算説明

サイオス株式会社
(東証スタンダード市場:3744)
2025年2月14日



目次

1. 2024年12月期 業績の振り返り
2. 2025年12月期 通期業績予想
3. 中期経営計画
4. Appendix

1.2024年12月期 業績の振り返り

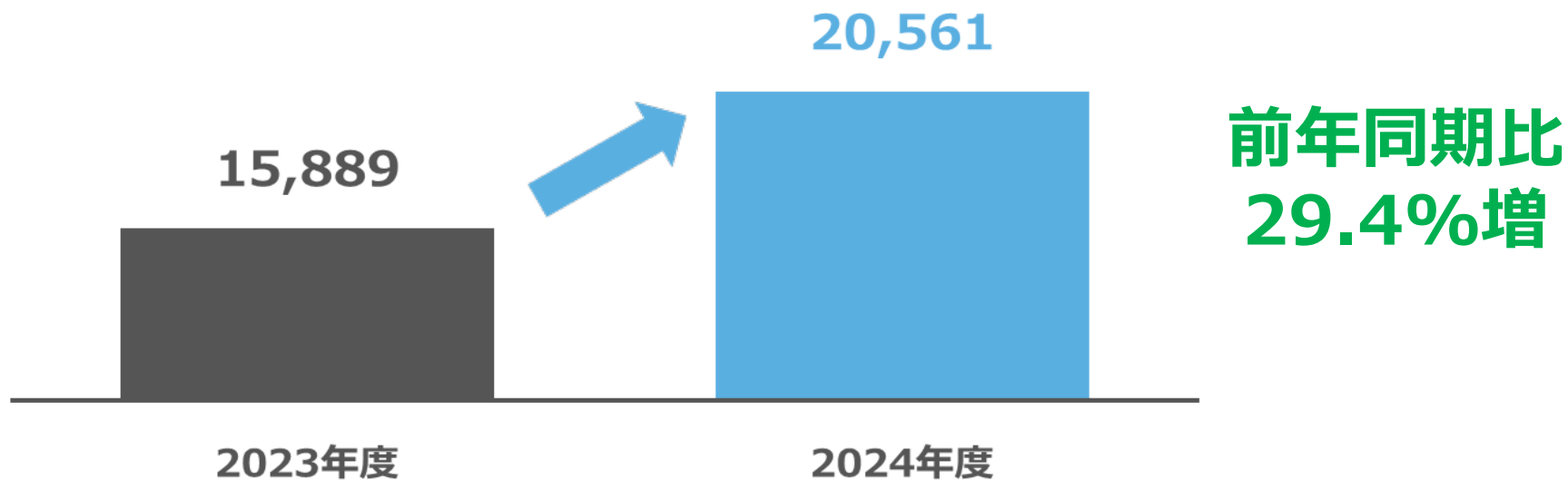
2024年12月期業績（連結）

(単位：百万円)	2023年12月期	2024年12月期	差額	前年同期比
売上高	15,889	20,561	+4,672	+29.4%
売上総利益	5,216	5,330	+114	+2.2%
営業利益	△208	35	+243	—
経常利益	△15	189	+204	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△18	351	+370	—
EBITDA	△147	87	+234	—
ROIC(年率換算)	△10.1%	1.5%	—	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

(単位：百万円)

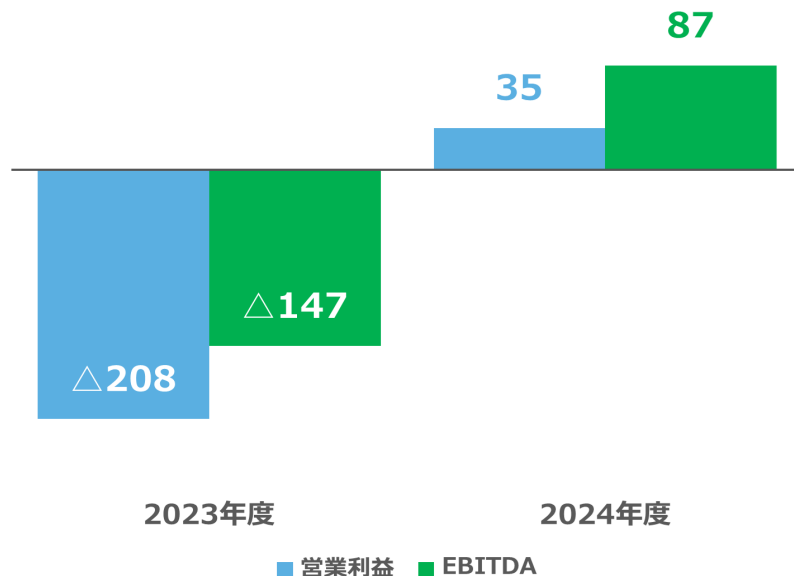


連結営業利益・EBITDA

高収益事業の増収、販売費及び一般管理費の削減により、

営業利益：前年同期比 243百万円改善・黒字化

EBITDA：前年同期比 234百万円改善・黒字化



(単位：百万円)

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

2023年12月31日

流動資産 5,741 (内現預金 2,604)	負債合計 5,518 (内有利子 負債181)
固定資産 205	純資産合計
投資その他 760	1,187
資産合計 6,706	負債純資産合計 6,706

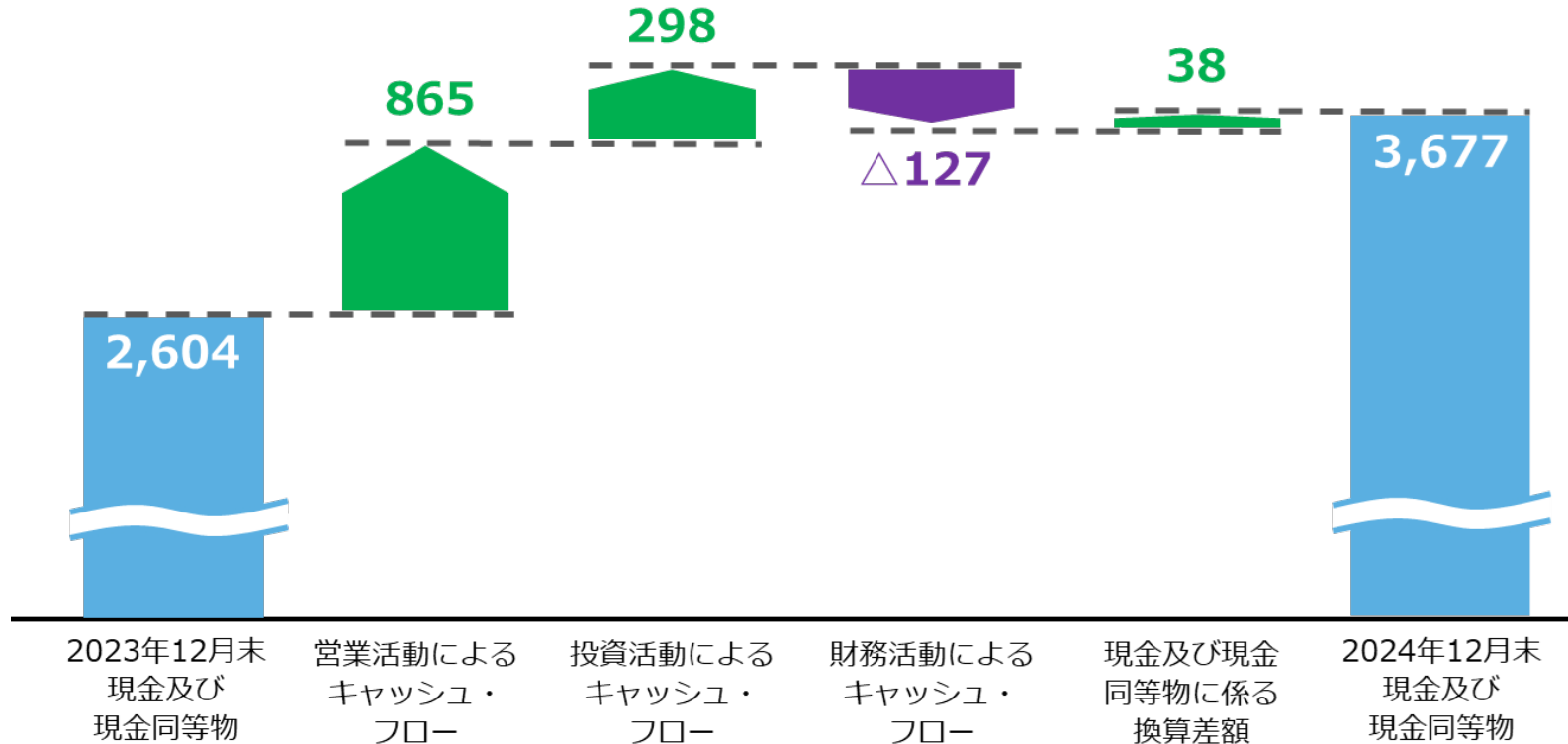
2024年12月31日

流動資産 7,175 (内現預金 3,677)	負債合計 6,547 (内有利子 負債102)
固定資産 172	純資産合計
投資その他 736	1,537
資産合計 8,085	負債純資産合計 8,085

- 主な資産の増加要因：現金及び預金1,073百万円**増加**
- 主な負債の増加要因：契約負債638百万円**増加**

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）



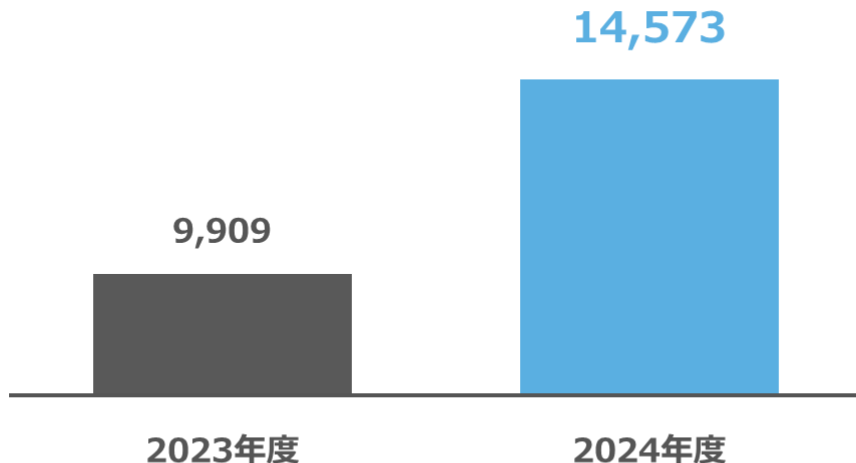
キャッシュ・フロー変動要因

	営業キャッシュフロー	投資キャッシュフロー	財務キャッシュフロー
金額	865百万円	298百万円	△127百万円
主な項目 <small>※表中の (+) は当期 純利益に対し プラスに、 (△) は当期 純利益に対し マイナスに 影響を与えま す。</small>	(+) 契約負債 743百万円 税金等調整前当期純利益 594百万円 仕入債務 321百万円	(+) 関係会社株式売却による収入 349百万円 投資有価証券の売却による収入 37百万円	
	(△) 関係会社株式売却損益 442百万円 売上債権及び契約資産 183百万円	(△) 無形固定資産の取得による支出 89百万円	(△) 長期借入金返済 66百万円 配当金の支払 43百万円

売上高

14,573百万円（前年同期比 47.1%増）

（単位：百万円）



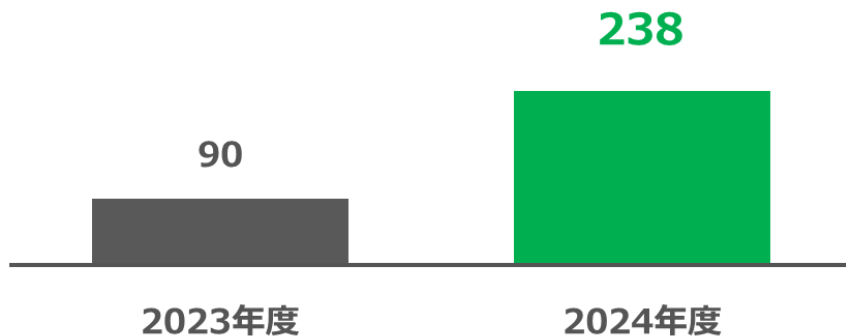
- Red Hat, Inc.関連商品※は**好調な増収**
- LifeKeeper※はオンプレミス※向けの復調に加え、クラウド※向けも伸長したことから**堅調な増収**

※「※」を付した用語については35頁に注釈を記載

セグメント利益

238百万円（前年同期比 164.8%増）

（単位：百万円）



- Red Hat, Inc.関連商品は、大型案件を受注したものの、売上総利益率の低い案件であったため、利益への影響は軽微
- LifeKeeperは、増収が寄与し**増益**

Elasticsearch K.Kとの業務提携

戦略的パートナーとしてElastic技術を活用したRAG※導入から運用までを支援

RAG導入を成功に導く3つのフェーズ

導入プラン作成支援

導入目的・ToBe
ヒアリング
データソース把握
セキュリティ
コンプライアンス要件
全体設計
スケジュール策定支援

PoC支援

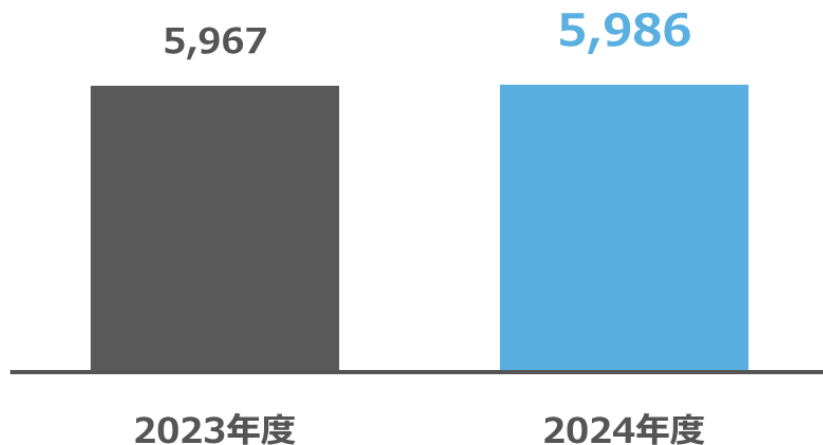
PoC環境構築
検証評価支援
RAG評価支援
LLM/GAI接続支援

導入支援

本番環境設計支援
本番環境構築支援
運用支援

売上高

5,986百万円（前年同期比 0.3%増）

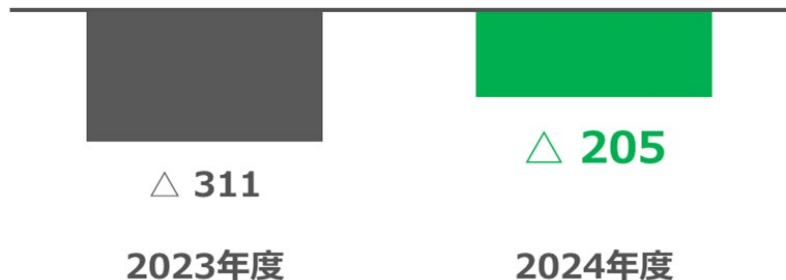


- API※ソリューション事業は、API領域に特化した高い技術力により活況な市場の需要を獲得し**好調な増収**
- Gluegent Flow・Gluegent Gateは**順調な増収**
- MFP向けソフトウェア※製品は**堅調な増収**
- 金融機関向け経営支援システム販売は**減収**

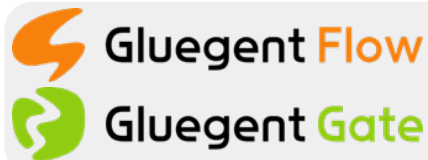
セグメント利益

△205百万円（前年同期は311百万円の損失）

（単位：百万円）



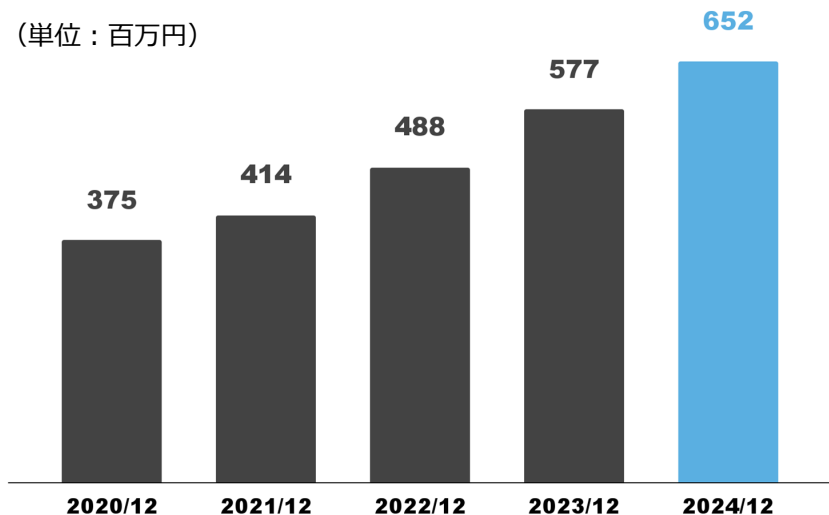
- 研究開発費の選択と集中を図ったことにより、セグメント損失は前年同期比で**改善**



ARR成長に向けた各種施策の成果により順調に伸長

【Gluegent Flow及びGluegent Gateの合計ARR (注) 推移】

(単位：百万円)



合計ARR 前年伸長率 **+13.0%**

Gluegent Flow

前年伸長率 **+34.0%**

Gluegent Gate

前年伸長率 **+4.6%**

(注) ARR (Annual Recurring Revenue) = 月末におけるMRR (サブスクリプション契約等に基づき毎月繰り返し得られる収益の月間合計) × 12ヶ月



ユーザーアシスト機能充実により、ワークフローの利便性・操作性が向上

一般ユーザー向け

1. タスク要約

タスク一覧で対象タスクの要約文を表示する機能

2. スマートモデル検索

申請時に利用すべきモデルを簡単に検索・レコメンドする機能

管理者向け

3. スクリプト自動生成

多様なパターンの申請への対応を可能にするスクリプトの作成を支援。
自然言語で指示した内容に基づき、スクリプトを生成

手書き文字・白抜き文字の読取り精度が向上（＝業務負荷軽減）

パネルボタンのワンタッチでAI-OCRモードが利用可能
&
手書き文字等の認識精度が向上



※AI-OCRの利用にはインターネット接続が必要です。



	黒背景白抜き文字	斜体文字
原稿	3 PDFのセキュリティ・保存・印刷	専門書・学術書・新聞
AI-OCR	3PDFのセキュリティ・保存・印刷	専門書・学術書・新聞
従来OCR	[非認識]	蒲・糠識・誤

氏名
申込人署名 <i>難波 太郎</i>
申込人署名難波太郎

電話番号(自宅)
Tel(自宅) 050(1745)9790
Tel(自宅)050(1745)9790

2025年3月24日より提供開始予定です

2.2025年12月期 通期業績予想

2025年12月期 通期業績予想

既存事業を強化し着実な営業利益伸長を見込む

(単位：百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 業績予想	差額	前年同期比
売上高	20,561	19,000	△1,561	△7.6%
営業利益	35	70	+34	+99.5%
経常利益 (うち、デリバティブ 評価損益等)	189 (53)	160 (-)	△29	△15.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	351	100	△251	△71.6%
EBITDA	87	122	+30	32.8%
ROIC	1.5%	2.8%	—	—
1株当たり配当金	—	—	—	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額
 ※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

3. 中期経営計画

- ① 中期経営計画**
- ② 報告セグメントの変更**
- ③ 各報告セグメントの成長戦略**

3. 中期経営計画

① 中期経営計画

セグメント毎に成長戦略を策定し、
利益成長と資本収益性の向上を図る

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期
売上高	20,561	19,000	20,500	22,500
営業利益	35	70	150	310
EBITDA	87	122	202	362
ROIC	1.5%	2.8%	5.8%	10.9%

3.中期経営計画

②報告セグメントの変更

成長戦略及び報告セグメントを3つのビジネスモデル軸で明確化

新報告セグメント

- **プロダクト&サービス**

自社開発ソフトウェア製品及びSaaS※製品の開発・販売・サポート

- **コンサルティング&インテグレーション**

情報システムの企画から開発・運用にわたるコンサルティング及びシステムインテグレーションサービス

- **ソフトウェアセールス&ソリューション**

国内外の先端ソフトウェアの販売とテクニカルサポート

ご参考)従来のセグメント

アプリケーション
事業

オープンシステム
基盤事業

各報告セグメントの売上・利益

- セグメント売上構成のシェア：ソフトウェア&ソリューションが**大きい**
- セグメント利益構成のシェア：プロダクト&サービスが**大きい**
- セグメント利益測定方法の変更：事業活動成果での利益に変更※全社費用は調整額

2024年実績での新旧比較

新報告セグメント

(単位：百万円)	セグメント売上	セグメント利益
プロダクト&サービス	6,203	488
コンサルティング&インテグレーション	3,040	321
ソフトウェアセールス&ソリューション	11,316	108
調整額(全社費用他)	2	△883
合計	20,561	35

ご参考) 旧報告セグメント

(単位：百万円)	セグメント売上	セグメント利益
オープンシステム 基盤事業	14,573	238
アプリケーション事業	5,986	△205
調整額 (セグメント外取引他)	1	1
合計	20,561	35

3.中期経営計画

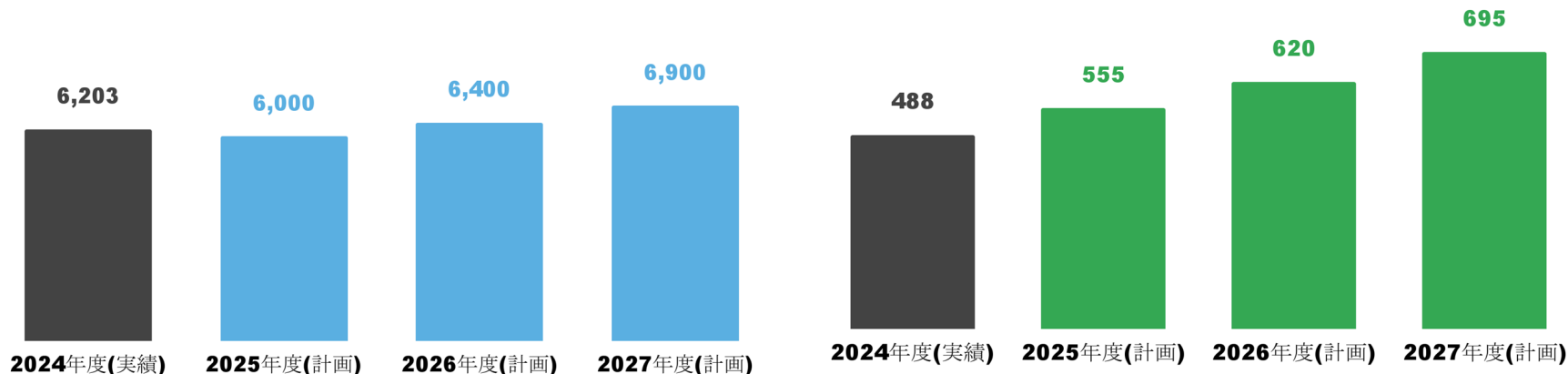
③各報告セグメントの成長戦略

- 継続的な機能開発・性能改善と生成AIの活用による製品差別化
- 販売チャンネルの拡大・デジタルマーケティングの強化等を通じた顧客開拓
- カスタマーサクセスを通じた顧客とのエンゲージメント強化

セグメント売上高

セグメント利益

(単位：百万円)



注1)2024年度にPCI事業を譲渡しており、当該事業売上645百万円が含まれております

- Quickスキャン

- Speedoc

(文書管理アプリケーション)

複合機と連携しペーパーレス、
オフィスの業務の効率を劇的に改善

- LifeKeeper
- DataKeeper

(システム障害対策ソフトウェア)

システムダウンによるビジネス停止をソフトウェアで防ぎ、
安心安全を実現

- Gluegent Gate

(クラウド型統合ID管理)

IDを安全に管理、シングルサインオン、アクセス管理をクラウドで実現

- Gluegent Flow

(クラウド型ワークフロー)

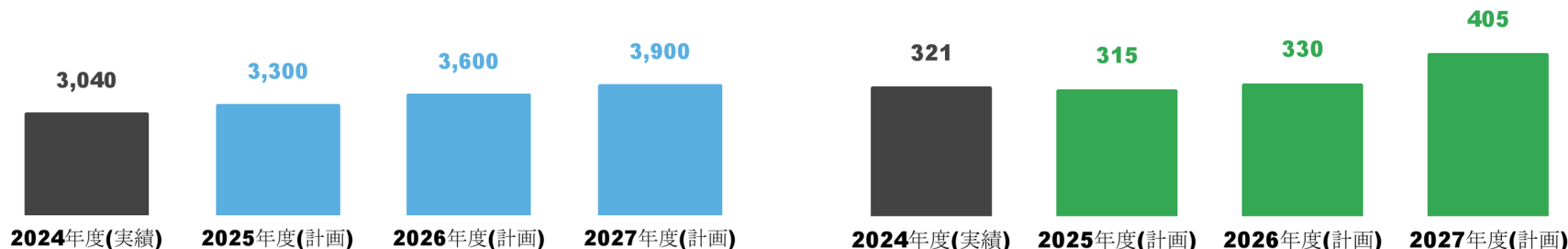
組織における申請・承認等の業務をクラウド上で実現、生成AI※も利用可能

- オープンソースソフトウェアによるシステム開発能力拡大で競争優位性強化
- 生成AI活用強化：導入支援案件の拡大及び社内利用拡大による生産性の劇的改善
- 卓越した企画・開発力と安定した運用支援で顧客エンゲージメント強化

セグメント売上高

セグメント利益

(単位：百万円)



API

APIを起点にビジネスモデルの検討、システム設計構築、エコシステムの拡張に至るコンサルティングと開発支援

金融

証券、銀行、暗号資産取引所などの金融機関向けに顧客のニーズに合わせてご提案からシステム開発・保守まで提供

医療

電子カルテ等の医療システム領域の開発

文教

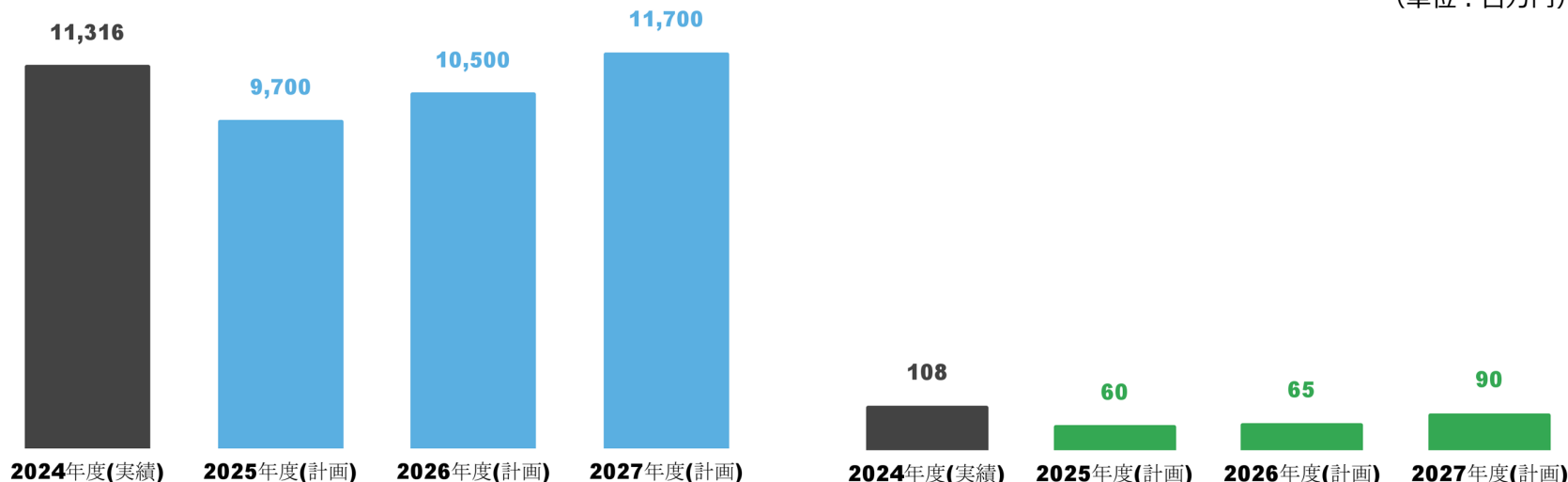
文教領域における統合認証ソリューションを包括的に提供

- Red Hatをはじめとする提携先との取引拡大
- Elasticとの提携による生成AI関連案件の創出
- 品質の高いテクニカルサポートで顧客エンゲージメント強化

セグメント売上高

セグメント利益

(単位：百万円)



Red Hat

米国Red Hat, Inc.の日本国内最大の
ディストリビューションパートナーと
して25年以上の販売実績
売上の継続的な成長を実現

Elastic

販売とテクニカルサポートを提供
オープンソースソフトウェアに対する
高い技術力で顧客を支援

4. Appendix

SIOS is Innovative Open Solutions

本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

市場 東証スタンダード（証券コード：3744）

社員数 連結481名（2024年12月31日現在）

**主な
連結
子会社** サイオステクノロジー（株）
SIOS Technology Corp. <米国>

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品及びSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社とする持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。

詳細情報は、<https://www.sios.com> をご覧ください。

頁	用語	説明
10	Red Hat, Inc.関連商品	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品
10	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア
10	オンプレミス	利用者がサーバーやソフトウェア等を保有し、運用する形態
10	クラウド	利用者がサーバーやソフトウェア等を保有せず、ネットワーク経由でサービスを利用する形態
12	生成AI	あらかじめ学習したデータから、新たなデータやコンテンツを生成する能力を持つAIシステム
12	RAG	Retrieval-Augmented Generationの略。検索拡張生成。 大量の知識を持ったAIモデルに企業独自の情報を外部知識として活用することができる仕組み
13	API	異なるソフトウェアやアプリケーション間で情報・機能を共有するための仕組み
13	MFP向けソフトウェア	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等
24	SaaS	Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。

但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html

